



スマホ・ケータイ安全教室

1月26日(金)KDDI スマホ・ケータイ安全教室事務局の方に
来ていただき、スマホ・ケータイの安全な使い方について1～3年は
2限に、4～6年は3限に体育館で話をさせていただきました。

スマホやケータイタブレットなどは情報を得たり、連絡を取り合ったり
生活になくてはならない「道具」になってきました。スマホやケータイの
ほかにもパソコンやゲーム機タブレットなど、便利な機能がたくさん
あるのですが、インターネットにつながっていることで危険とも
隣り合わせになっています。



安全教室ではアニメ動画で事例を紹介し、何がいけなかったのかみんなに考える時間を取りながら進
めていただきました。

低学年では ①気を付けること②ルールについて4つのお話からみんなで考えました。

ゲーム【ゲームってむりょうじゃないの?】

- ① つづけるにはお金がかかる。
- ② ルールをきめてつかおう。

インターネットでおお
買い物は、ボタンを押す
だけでお金を払う感じ
がしない

じかん【そんなにやっただいじょうぶ?】

- ① むちゅうになってしまう
- ② つかう時間をきめよう

おもしろ動画はおす
すめじょうず

やりとり【つたわるかな?】

- ① 気持ちがつたわりにくい
- ② あいてのことを考える

文字のやりとりは気持ち
がつたわりにくい

じょうほう【会いにいったもいいのかな?】ない

- ① うそのじょうほうもある
- ② こまったらすぐそうだん

インターネットの
情報はほんとうか
わからない



KDDIのHP 安全教室より

リーフレットにQRコードがあります。

高学年では「課金」や「時間」のほかにも、チャットなどへの書き込みのトラブルについて話がありました。直接会って話せば表情や声のトーン、身振り手振りなどで自然に伝わる気持ちや相手の状況が、チャットなどの文字だけでは伝わらず勘違いされてしまうことがあります。SNS などは簡単に思いを伝えることができ、とても便利なものですが、顔が見えないため思いが伝わりにくいという特徴があります。文字だけのやりとりは感情がエスカレートしやすく「いじめ」につながってしまうこともめずらしくありません。さらにエスカレーとすることで、根拠のない悪口やかげ口で相手傷つける「言葉の暴力」に発展することもあります。SNS などでは「相手の気持ちを想像する」「周りに流されずに考える」「思いやりを忘れずに」ということを教えていただきました。

また、ネットへの依存について、スマホや動画など夢中になってやめられなくなり、勉強がおろそかになり成績が下がったり、夜中でもやり続ける昼夜逆転になったり日常生活が難しくなることも教わりました。そのほかにも事例で小学生の子がネットで知り合った人に会いに行き、事件に巻き込まれそうになった話から、ネットで知り合った人を信用するのは危険、GPS はオフに、投稿は慎重に、いつでも疑い絶対に会わないことも教わりました。

9 月、教育を語る会での教育委員会の先生の話でもありましたが、大事なことは

おうちの人と相談しながらルールを作ろう

ということです。

時間のルールや場所のルールなど作り、それを守っていくことが安心安全な生活を送ることにつながります。子どもたちが犯罪に巻き込まれたりしないためにも、26 日に配布しましたリーフレットをよく読んでいただき、お子さんのスマホ・ケータイの管理をよろしくお願ひしたいと思ひます。

大谷正平選手奇贈のグローブがやっと届きました。

「校長先生、大谷翔平のグローブはまだ？」先々週ぐらいから、ニュースを聞いた子どもたちが校長室へ聞きに来ました。待ちに待ったグローブは 26 日(金)にやっと届き、今週中に、授業の中で紹介しています。大谷選手のメッセージを先生たちから聞いた後、一人一人がグローブをはめ、キャッチボールなどしました。1 年生は初めてグローブをはめる子がほとんどで、ボールをうまくキャッチできるととても喜んでいました。

このグローブが私たちの次の世代に夢を与え勇気づけるためのシンボルになることを望んでいます。それは、野球こそが私が充実した人生を送る機会を与えてくれたスポーツだからです。

「野球をしようぜ」

大谷翔平

